

●事例●

東京工芸大学が実践する就業力の育成・強化

―真に「就職に強い大学」を目指して―

酒井 克之

(東京工芸大学 キャリア開発センター長)

●東京工芸大学 建学の精神

本学は、一九二三年(大正一二年)に創立された、八〇有余年の歴史と伝統を有する大学です。「日本の写真技術の振興に寄与する人材を世に送り出し、国家の発展に貢献するためには写真教育を行う専門の学校が必要である」という理想を提唱していた小西本店(現在のコニカミノルタホールディングス株式会社)創始者である六代目杉浦六右衛門が他界した後、その理想と遺志を後継した七代目杉浦六右衛門が東京府豊多摩郡代々幡町幡ヶ谷(現東京都渋谷区幡ヶ谷)の地に、「小西写真専門学校」を創設しました。(前略)故先代杉浦六右衛門、つとにこれを憂ひ、私財

を投じて写真学校を設立し、以って本邦写真界の為に尽くさんことを決意し、その企図に努めしも、生前その意を果たすに至らざりき。不詳先考の意志を継承して、ここに本校を設立することとなれり(後略)との設立趣旨の下、高等の専門的写真教育が開始されたのが本学の前身であります。

●基本理念

本学の基本理念は、建学の精神を受けて、さまざまな世界で活躍できる人材を「工学×芸術∞」という独自の学びで育成することにあります。

※東京工芸大学は、社会に有為な職業人の養成を目指し、確かな基礎教養の上に、先端のテクノロジーやメディアを用いて社会の発展のために活躍する実践的人材と、工学と芸術学の知識・技術と表現を結びあわせた新しい分野の創成に貢献する創造的人材を育成する

●「就職に強い大学」を实践する学内体制

本学における就職支援組織ですが、理事長・学長がメンバーとなる「就職行動委員会」を上部機関とし、工学部・芸術学部各就職委員長による「合同就職委員会」、および両学部の就職委員で構成する「就職委員会」を通じて、キャリア教育や就職支援の具体的な施策を協議し、実践化を図っています。各々の委員会とキャリア開発センターが繋がり、連携することにより、全学としてきめ細かい、強力なバックアップ体制を実現しています。

●就職支援基本方針を制定

本学では、また、就職支援という考え方を明確にするためにも、二〇〇六年一月に「就職支援基本方針」を定めています。

その一として、教育カリキュラムの中に「キャリア教育を含むこと」、その二として「全教職員が一人となつてキャリア教育・就職支援を行うこと」を明確に示し、さらに、その三として建学の精神そのものでもある「本学の使命は、社会で活躍できる人材の育成であること」を謳い、全学にわたつて認識をひとつにしています。

【就職支援基本方針】

就職は、個人の持続的成長と社会への貢献の礎となるものである。このことの自覚を促し、具体的な就職支援を行うことは、本学教育の使命達成に不可欠である。

以上の認識を踏まえ本学の「就職支援基本方針」を以下のとおり定める。

- 一、キャリア教育を教育カリキュラム構成上の重要要素の一つとして位置づける。
- 二、全教職員が協力して、キャリア教育・就職支援に尽力する。
- 三、本学の使命は社会で活躍できる人材の育成であり、就職はその成果を示すものである。

●独自の四年間一貫したキャリア教育・就職支援の概要

本学は、「就職に強い大学」を実践していくため、入学時からキャリア開発プログラム(満足できる仕事を獲得し、その仕事を続ける能力を育てる講座)に始まり、企業の厳選採用に対応するための就職支援に至るまで様々な形で「キャリア開発」に力を入れていきます。これらを通じ、学生が入学から卒業に至るまで充実した学生生活を送り、四年間で将来やりたいことを見つけ、自分に適した職業選択を成し遂げてもらいたいと考えています。

キャリア開発センターでは、キャリア教育と就職支援を以下のとおり計画しています。

※東京工芸大学独自のキャリア教育・就職支援

次頁【表】を参照

※キャリア教育を受講して就職力を高める!!

【独自のキャリアデザイン授業の体系】

キャリアデザインⅠ～Ⅴは、社会で求められる基礎能力を段階的に高めていきます。まさに就職に強くなる実践的な授業であり、社会に出るために必要な能力をしっかりと身につけさせます。

就職のためには、将来について早期から考えておくことが大切ですが、キャリアデザインは、「就職だけ」を考えると目的としていません。自分が将来何をやりたいのか、どう行動したら夢が実現するのか、社会に出てから活躍できるようにノウハウばかりではなく、時間をかけて将来に向けての考え方やスキル(能力)を身につけるための授業としています。

〈二年次〉

キャリアデザインⅠ(前期)

キャリアデザインⅡ(後期)

①コミュニケーション(対人能力を鍛える)

②文章作成(文章力を磨く)

③自己理解(自分と将来を考える)

〈二年次〉

キャリアデザインⅢ(前期)

キャリアデザインⅣ(後期)

④ビジネスマナー(マナーを身につける)

⑤数的処理能力(就職筆記試験対策)

⑥常識(世の中を知る)

【表】 東京工芸大学独自のキャリア教育・就職支援

学年	時期	プログラム
1年次	前期	【授業】 キャリアデザインⅠ 【授業】 キャリアデザイン概論（芸）
	夏季休暇	【課外】 情報処理資格講座 【課外】 会社見学会
	後期	【授業】 キャリアデザインⅡ
2年次	前期	【授業】 キャリアデザインⅢ（2008年入学～）
	夏季休暇	【授業】 インターンシップ（工） 【課外】 情報処理資格講座 【課外】 会社見学会
	後期	【授業】 仕事とライフデザイン（芸） 【授業】 ポートフォリオ制作演習（芸） 【授業】 キャリアデザインⅣ（2008年入学～）
3年次	前期	【授業】 キャリアデザインⅤ（工） 【授業】 進路を考えるA（芸）
	夏季休暇	【授業】 インターンシップ 【課外】 情報処理資格講座 【課外】 会社見学会
	後期	【授業】 進路を考えるB（芸） 【課外】 就職ガイダンス（工） 冬季 学内合同就職面談会・企業説明会 個別指導（履歴書添削/模擬面接/筆記試験対策）
	春季休暇	春季Ⅰ 学内合同就職面談会・企業説明会 個別指導（履歴書添削/模擬面接/筆記試験対策） 就職支援特別講座（面接、エントリーシート対策）
4年次	前期	春季Ⅱ 学内合同就職面談会・企業説明会
	夏季休暇	就職支援特別講座（面接、エントリーシート対策）
	後期	秋季 学内合同就職面談会・企業説明会

（工）工学部（芸）芸術学部

〈三年次〉

キャリアデザインV（前期）

⑦就職活動実践講座（業界研究、自己分析、プレゼンテーション、エントリリーシート対策など）

【特徴ある芸術学部のキャリア教育】

芸術学部の学生には、自分の夢を実現するために独自のキャリア教育科目を以下のとおり設け、履修を推進していきます。二〇〇八年度にスタートした芸術学部のキャリア教育科目は、今年度ですべての科目が正課（履修単位化）として開講しました。本学芸術学部のキャリア教育の特徴は、卒業単位に組み込まれているところにあります。

〈二年次〉

・「キャリアデザイン概論」

入学して間もない一年次は、社会人としての教養を身に付け、将来の自分を意識する期間と位置づけ、「キャリアデザイン概論」を開講しています。クリエーターになるための必要な知識を学び、夢の実現のための学びをスタートさせる科目です。

〈二年次〉

・「仕事とライフデザイン」

・「ポートフォリオ制作演習」

二年次は、自分が目指す業界を知り、夢を実現するための具体的な方法を学んでいく期間と位置づけ、「仕事とライフデザイン」を開講しています。また、志望職種に合ったポートフォリオ（作品集）を制作するために、「ポートフォリオ制作演習」を開講しています。

〈三年次〉

・「進路を考えるA・B」

・「クリエティブ発想力演習」

・「キャリア教育関連科目」（専門教育課程）

就職活動がスタートする三年次は、「進路を考えるA・B」で難関な採用試験を突破するための実践的な準備を進めることができます。また、「クリエティブ発想力演習」では、クリエティブの作法「発想・表現・説得」のノウハウを学習し、トレーニング及びコーチングの繰り返しにより、クリエーターとして柔軟な発想が生み出せる、ひらめきやすい体質作りを目指します。

【インターンシップを強化】

インターンシップを将来のキャリア形成のために最も有効なキャリア教育として位置づけ、実習先のさらなる開拓を行い、履修者（率）を拡大してまいります。また、各学科の就職委員の協力を得て、インターンシップの履修をますます推進する体制を確立していく予定です。なお、インターンシップは、正課授業として単位化しており、工学部では二・三年生、芸術学部では三年生を対象に取組んでいます。夏季休暇等でインターンシップを終了後、学内報告会を経て、単位を認定する仕組みを構築しております。

●トピックス

※就職支援策の重点施策として学内合同就職面談会を計画的に開催

本学では、学生の企業選択の視野を拡大し、少しでも多くの企業とコンタクトが持てるようにと、学内にて企業の合同就職面談会を開催しています。年間複数回にわたり、厚木・中野の両キャンパスにて相当数の企業にお越しいただき、学生との対話を行っていただいています。学内合同就職面談会に参加した学生からは、相当の率で内定獲得の報告が寄せられています。

今後は、学内合同就職面談会をより充実させるために、開催時期や手段も再考し、企業と接触する機会をより増加させたいと考えています。

※就職支援 新制度の発足

本学では、学生の就職の実現は、大学としての社会的責任課題との認識を強く持っています。

本年、その課題を実践するためにも以下の二つの就職支援制度を発足させ、推進しています。

一、就職内定取消し者に対する在学延長制度の発足について

本学の卒業要件を充たす学生で、卒業予定年度の一〇月



学内合同就職面談会の様子

特集・就職支援～学生の職業意識の醸成～

以降に就職内定の取消しを受けた者が卒業を延期し、引き続き在学することを希望する場合、所定の手続きにより在学延長を認める制度を発足しました。

企業が採用を内定後、企業環境の変化などにより、やむを得ず採用内定を取消す事例が相次いでいます。学生は、不測の事態となった時点から就職活動を再開するケースもありませんが、昨今の採用活動が早期化する環境下では、新たに内定を確保することは厳しい現状です。傾向的には、内定確保に至らず、就職浪人に陥る可能性もあります。そのような学生への就職支援として、所定の条件を充たすことを前提に、一年間の「在学延長」を認める制度を発足しました。また、在学を延長し、就職活動を継続して行う学生には、様々な就職支援を継続的に行っています。

制度の詳細は、以下のとおりです。

【募集対象】

二〇〇九年度に本学の卒業要件を充たす学生で、卒業予定年度の一〇月以降に就職内定の取消しを受けた者が卒業を延期し、引き続き在学することを希望する学生

【出願資格】

次の①～③の要件を全て充たす者で④に該当する者としません。

① 本学学則に定める卒業の要件、または本学大学院学則に定める修了の要件を充たしていること

② 引き続き在学することにより、在学期間が本学学則及び本学大学院学則が定める修業年限を超えないこと

③ 授業料等の納付金を滞納していないこと

④ 企業等から内定取消しにより、やむを得ず就職を取りやめざるを得なくなった者で、引き続き在学し就職活動を希望する者であること

【在学費】

半期 一〇万円（一年間の場合は、二〇万円）

二．就職未内定卒業生対象の就職支援制度について

二〇一〇年三月卒業生を対象に「就職未内定卒業生対象の就職支援制度」（以下、「就職支援制度」）を発足しました。

「就職支援制度」は、昨今の経済環境の悪化などから卒業までに内定獲得ができず、卒業後も引き続き就職活動を行う意思のある卒業生を対象として、二〇一〇年四月以降、就職活動ツールの提供や講座等の受講機会の提供を行い、就職活動を全学的にバックアップするものです。

一 昨年のサブプライムローン問題が引き金となった経済環境の悪化から、雇用環境が近年にない厳しさに見舞われ、

この事態に国や行政をはじめ、社会全体として未就職者への支援が急務となっています。本学としても就職の実現を責任課題との認識を強め、未内定のまま卒業した後も就職活動を行う学生に対して継続的に就職支援を行うことを決定しました。

● 「就職支援制度」の概要

【就職支援の主な内容】

- 一・ 本学独自のシステム「就職情報システム」の利用促進
- ・ 企業情報、求人情報、セミナー情報等を閲覧できます。
- 二・ 「学内合同就職面談会」に参加促進
- ・ 学内での求人マッチングイベントなどに参加できます。
- 三・ 「各種就職セミナー」に参加促進
- ・ 事前に案内を送付し、学内で行う「就活支援講座」などに参加できます。
- 四・ 「個別相談」「就職指導」に対応
- ・ メールで就職相談ができます。
- ・ 学内キャリア開発センター内で、面談ができます。
- ・ 学科の担当教員に相談ができます。
- 五・ その他「情報提供」の実施
- ・ 主にはメールを通じて、求人情報や学外イベント等の情

報を配信しますので有効に利用できます。

● 今後の取組みについて

キャリア教育・就職支援に関し、今後取組む重点方針を以下のとおり定めました。

※重点方針

- 一・ 就職希望者の就職を一人でも多く実現させる。
- ・ 就職内定率の安定確保のために独自の就職支援策を展開する。
- 二・ 学内就職支援体制の刷新と強化を図る。
- ・ 就職委員会を定期的に開催し、教員との情報交換を密にし、連携を強化する。
- 三・ 企業との関係を強化し、求人数、求人機会を増大させる。
- ・ 採用実績企業、重点企業、新規開拓企業を分析し、企業訪問等で求人 の獲得率を上げる。
- 四・ キャリア教育・就職支援に関する「学生満足度」を向上させる。
- ・ 低学年からキャリア教育を行い、将来のキャリア形成の意識を早い時期から醸成する。

ひいては、キャリア教育関連授業や就職ガイダンス等の履修率を上げる。

五. 「就職に強い大学」として積極的に広報する。

・ホームページや学内情報システム等を利用して内外に向けてキャリア教育・就職支援情報を積極的に発信する。

東京工芸大学は、社会に役立つ人材を輩出するという使命に基づき、真に「就職に強い大学」を目指します。何卒、ご支援をよろしくお願い申し上げます。